



## 小笠原で暮らすイルカたち

### 「親離れはいつ？」

背びれに小さな傷が2つあるミナミハンドウイルカ(#67)は、生まれて間もないと思われる子イルカを連れてくるのが2005年6月に確認されました。以来3年間、子イルカと一緒にいるところが観察されてきましたが、今年の5月31日に観察した時には子イルカの姿が近くに見当たりませんでした。ミナミハンドウイルカは生後3~4年で親離れする個体が多いといわれており、おそらくこの子イルカも親離れしたと考えられます。

しかし、小笠原のミナミハンドウイルカの中にはもうすぐ5才になるイルカがまだ母イルカと一緒にいるのも確認されています。最近では母イルカから離れて泳いでいる時もあるので、この子イルカもそろそろ親離れをする時期が近づいているかもしれません。

3年前、生まれて間もないイルカを連れていた#67 (2005年6月)



### 「5歳の旅立ち」

23号のイルカ通信でご紹介したミナミハンドウイルカの親子(#55と#118)が、親離れの時期を迎えたようです。背びれに特徴的な傷がある子イルカ(#118)は、今年の夏で5歳になりますが、5月頃から親とあまり一緒に行動しなくなり、7月の調査では母イルカの姿がそばにありませんでした。ミナミハンドウイルカは生後3~4年で親離れする個体が多いといわれており、この子イルカも少し遅い親離れしたと考えられます。



親離れしたと思われる#118

## この夏・OWAのナイトレクチャーがあります！

### 「クジラやイルカの目から見た小笠原の海」

小笠原のクジラやイルカたちが、どのような暮らしをしているのかを紹介します。

【日時】7月31日・8月3, 6, 12, 15, 21, 27日

午後7時30分~8時30分

【場所】小笠原ビジターセンター 多目的ホール

【費用】資料代として500円(小中学生250円、村民・OW会員無料)

オモロいな  
イルカやクジラの  
話もするよ！  
みんな来てね！



もりつち博士

